

地域学校協働活動 青りんごだより

3,4年 総合的な学習 りんご・ぶどう・アーモンド

令和6年8月号② 大谷小学校 地域活動推進員 堀志津

みんなで協力し、フルーツはかせになろう！

春の開花から継続して調べている、朝日町の果実について、6・7月も畑に出かけ、地域の先生から学んできました。「アーモンドはどこで売られているのかな？」という子供たちの疑問から、道の駅あさひまち「りんごの森」を訪問し、駅長さんに質問もしました。

7/2 りんご



白田憲彦さんがりんごの大きさを測ると、5月21日の見学時に2cmだった実が、5.2cmの大きさに成長していました。白田さんから「りんごは1日1mmずつ大きくなる」と聞き、子供たちは驚いていました。しわしわと丸まっている葉とそうでない葉の違いにも気づき、質問していました。



7/9 ぶどう



開花から1カ月経ち、実が大きくなり房も長く成長していました。白田甲子郎さんから房づくりとつぶ抜き（摘粒）の仕事を教わり、つぶ抜きの作業を体験しました。実をなめてみると、すっぱくて身震いしている子供もいました。この固くてすっぱいぶどうが、秋になると甘くなるのが不思議だな、と話していました。



6/25 アーモンド



大きくなったアーモンドの実と葉にはふわふわの毛が生えていました。「どうして毛があるのかな。」「気持ちよくて、ずっと触っていたい。」としばらく触って観察。菅井誠吾さんが実を割って見せてくれましたが、アーモンドの食べる部分がどの部分なのかは、まだなぞのままです。